

< 鶴岡地区地域医療福祉連携 活動報告会 アンケート結果 >

平成 23 年 3 月 6 日（日）13：30～16：30 荘内病院講堂

参加者数 93 名

医師(7)、医療ソーシャルワーカー(2)、介護支援専門員(26)、介護職(2)、看護師(7)、
看護師・ケアマネ(1)、管理栄養士・介護支援専門員(1)、研修担当(1)、
健康企画・調整担当(1)、施設管理者(1)、歯科医師(16)、歯科衛生士(5)、歯科技工士(1)、
歯科助手(2)、事務(3)、主任介護支援専門員(2)、生活相談員(1)、福祉用具専門相談員(1)、
福祉用具貸与(1)、保健師(3)、訪問診療相談員(1)、薬剤師(5)、理学療法士(1)、その他(2)

1. あなたの職種をお聞かせください。アンケート回答者 47 名

ケアマネジャー 21 名、保健師 3 名、看護師 4 名、医師 1 名、歯科医師 6 名、
薬剤師 3 名、その他 4 名、未記入 5 名

2. 今日の報告会で、各会の活動内容を知ることが出来ましたか？

出来た 26 名 大体出来た 20 名 未記入 1 名

3. 今後の業務に活かせる事はありましたか

あった 37 名 わからない 6 名 未記入 4 名

◎できればどんな事が教えてください

- ・ 今後のネットワークを強化・普及に期待します。
- ・ 血圧が安定しない利用者、癌末期で痛みの緩和が上手くいかない時、薬局の力を借りて行く事も選択肢の一つかとおもった。
- ・ いろんな職種の方の専門の話しや知識を活用出来る事や方法が知れた。
- ・ 山形市（地区）在宅ケア研究会に情報提供しながら活用させていただきます。
- ・ 色々なワーキング活動があり参考になりました。
- ・ 連携の重要性。
- ・ 口腔ケアの必要性の訴えが聞けた。
- ・ 新人研修に参考にしたいと思った。（荘内地域が分かりやすく学ぶことが出来ると思う）
- ・ みんなすごく学習している。利用者のケア、生活の質の向上のためにも個人のスキルUPだけでなく連携が重要 →篠田さん。
- ・ 口腔ケアだけ必要とかでも相談出来るかと思いつなげなかったが、はっきりしました。
- ・ 医療職と介護職の違いは医療職は科学的根拠に基づいている。言語の違いではないのでは。
- ・ 口腔ケアを歯科へ依頼してみようと思う。
- ・ 薬剤師さんに相談しても良い事がわかった。
- ・ 口腔ケア。
- ・ 事業所で有料老人ホームをかかえているので、休日歯科診療所の存在は大きい。
- ・ 顔の見える関係づくりをする。医療関係者との連携⇒研修、情報交換の場に参加すること。
- ・ 連携の実態。

- ・ 地区内の動向把握。
- ・ ケアマネのプランに“食”のニーズが不足しているということ。薬剤師の方が癌末期の在宅支援をしてくださっていること。
- ・ どうゆうときに他の職種と関わるかが一例で理解できたのでその辺りを活用したい。
- ・ 多職種の活動を今後の連携に活かす。
- ・ 病院から地域への情報発信はとても有効。これからもどんどん発信していきたい。
- ・ 口腔ケアのパスあるいは他のパスの中に口腔ケアのチェックを入れる。
- ・ 歯科、口腔ケアへの関わりを考えたい。

4. 各協議会に期待したいことやご意見、要望などはありますか？

◎ 南庄内在宅医療を考える会へ

- ・ 在宅介護での口腔状態の確認のルーチン化。
- ・ 参加する医師が増えるといいですね。
- ・ 是非、今後庄内地区在宅司会診療ネットワーク協議会と連携、共同開催を。
- ・ 在宅に動いてくれる先生を増やしてください。
- ・ 在宅診療との連携が大変（病院より）。
- ・ 研修会の企画、楽しみにしています。

◎ 庄内南部地域連携パス推進協議会へ

- ・ 地域活動をしている保健師との連携が大切と感じた。（脳卒中パス）。
- ・ 口腔ケアのパスの構築。
- ・ 病病、病診後のレベル低下防止＝在宅支援が必要と感じていますがリハ事業所が少なすぎるのと、リハの必要性、科学的なりハの必要性を捉えられるケアマネが少ない気がします。
- ・ 歯科との連携強化。
- ・ 高血圧、脳卒中の予防として歯周病予防も一つのツールなので、ぜひ歯科の参加も考えてほしい。
- ・ パスが広く多職種にも分かるようにPRしてください。
- ・ 口腔ケア指導を行っている歯科医院あります。肺炎予防ができています。もっと広く近くの所で行ってもらえたらよいと思う。
- ・ ITについていけるか？
- ・ 大変勉強になりました。パスに在宅、ケアマネなども入れればと思いました。

◎ 庄内地区在宅歯科診療ネットワーク協議会へ

- ・ 口腔ケアが話題になりましたが、嚥下は歯科ですか？難病のアイスマッサージ等の口腔ケアが欲しい。家族だけでなく食、口腔にケアマネが、意識が低すぎるのでは。
- ・ 歯科医師の立ち場から見た適切な口腔ケアの指導の場の設置。
- ・ 研修の継続と歯科との連携。
- ・ 在宅訪問診療の普及。

- ・ 是非情報のオープン化を。医科、介護との連携を。
- ・ 可能ならば病院で行っている退院前カンファレンスにも参加していただきたい。
- ・ 口腔ケアについては市民の意識もまだまだ低いと思います。今後の活躍をととても楽しみにしています。
- ・ 口腔ケアはすべての方が必要とのことでしたが、導入する上での初期症状の見極めを教えてください。
- ・ 口腔ケアがすすみますように。
- ・ 訪問診療ありがとうございます。いつもお世話になっています。ありがとうございます。口腔内清掃により肺炎のリスクは低下しています。今後もお世話になります。
- ・ 口腔ケアの窓口を是非作ってください。
- ・ 多職種が連携できることは大切です。つくづく思いました。
- ・ 居宅介護されている方でも、なかなか言えない事、ニーズがあると思うので掘り起こしていただきたい。

◎ つるやくネットワークへ

- ・ 在宅や緊急訪問の対応をもっと多くの薬局でしてほしい。
- ・ 分かりやすい薬学知識を学ぶ研修会を開催してほしい。
- ・ 在宅で服薬管理できない方、または危ない方は多いと思います。朝、昼、夕の区別、錠剤⇔散剤・・似たような薬の区別など気軽に相談に乗っていただけるよう情報発信していただければと思います。
- ・ なかなか薬剤師さんとの連携が組めない。又、情報交換が出来ないところでは、薬剤師さんの仕事について若干理解出来た。
- ・ 訪問薬剤指導、急患対応など、より多くの薬局が参加できる環境づくりをお願いしたい。病院の薬局に何を期待しますか？
- ・ 薬剤師の訪問での活動が本日具体的に理解できました。
- ・ 在宅に関わる薬局を増やしていきたい。
- ・ 訪問薬剤師さんに助けられています。
- ・ 色々な職種がどんなことをしているのかを知らないと連携できない。活動をまた教えてください。
- ・ 患者本人、家族でも服薬の内容について全く理解していない方が多いので、訪問薬剤指導をもっと広げてほしい。

◎ 医療と介護の連携研修会へ

- ・ シートの活用は画期的。アンケートによる次への具体的な課題が何なのか見えなかった。
- ・ ネットワーク作り。
- ・ 相互理解を深めスムーズに連携出来る場。
- ・ ぜひ歯科との連携も入れて欲しい。
- ・ これからもがんばってください。
- ・ 今後の連携の機会をお願いしたいと思います。

- ・ これからも継続していきましょう。続けることが大切ですね。

◎ 庄内プロジェクトリンクスタッフ意見交換会へ

- ・ 看取り、緩和ケアのスキルアップ。
- ・ 歯科もリンクスタッフの中に入れてもらえるともう少し活動範囲が広げられたかな?と思います。
- ・ 医療の方とお話し出来た事は良かったと思っています。
- ・ リンクスタッフの継続を。
- ・ 「リンクスタッフ」としての役割が明確化しながら役割を果たせるように。

◎ 南庄内栄養と食を考える会へ

- ・ 口腔ケアについての研修会。
- ・ 栄養ケアステーションの発展に期待。
- ・ 歯科を多職種に入れるきっかけづくりを作ってくださいありがとうございました。歯科のアピールをしてもらい今後の活動につなげたい。
- ・ 栄養と口腔ケアを考える機会（研修等）があれば良いですね。
- ・ 食の重要性について考えたい。
- ・ 食は大切です。もっと連携が必要と思いました。

◎ 地域におけるIT活用へ

- ・ Net4Uの詳細。
- ・ Net4Uに介護職の早急な参加を願います。
- ・ 地域差、主治医による差がありすぎる。開業医間の温度差を解消してほしい。
- ・ Net4Uの研修をしてほしい。
- ・ ネットによる連携をすべての事業所（医、介、薬 etc）で活用できるよう模索してみてください。
- ・ 介護職員も利用できるネットワーク作り。主治医も担当者会議に出席出来るよう。
- ・ スピーディーにコミュニケーションが各職種ととれるのはよいと思います。是非歯科も入れていただきたい。
- ・ Net4Uのサービス担当者会議を経験しました。また！
- ・ ケアマネ業務に主治医との連携は欠かせません。活用拡大出来ればと思います。
- ・ Net4Uに歯科での参加が可能かどうか？可能ならば入れていただきたい。

◎ 多職種連携 ふらっと会へ

- ・ 是非、次回も参加します。
- ・ 参加したい。
- ・ 楽しく多職種が交流できる場。
- ・ すごく楽しく参加させてもらったので、是非また開催してください。
- ・ 今度開かれる際はぜひ参加させていただきたい。

- ・ 私も参加したいと思います。
- ・ 楽しそうですね。
- ・ 懇親会を楽しみにしています。
- ・ 是非これからもずっと継続してください。楽しみにしています。

5. 日常業務上の「医療・保健・福祉」のつながりで大変なことはなんですか？

- ・ 医療（緩和ケアでケアの方向性がはっきりしない）。
- ・ 電話の時間帯を気にしてしまう。特に病院で直接病棟に連絡をとる場合。
- ・ 保健分野の連携がどうあればいいか・・・
- ・ 今まで患者経由での多職種連携でタイムラグがあったが、これからはIT化で横の連携が強められたら良いと思う。
- ・ 十分な情報提供がされていないサマリー一枚での退院。
- ・ 協立系は医療（きずな）が入ることで必ずカンファレンスが開催されるのでありがたい。
- ・ 退院までの時間がなく、準備不足のまま在宅生活に入る事がある。
- ・ 主治医への相談が難しい。
- ・ 退院後、主治医が最後まで診てくれない。救急車を呼べば良いと考える先生が多く、在宅の考えを伝えるのが大変です。
- ・ 在宅介護（介護保険）限られた時間内でのケアの限界にいつも考えさせられる。
- ・ 多職種の理解を深める。
- ・ 顔の見える交流を行い、問題を意見交換する。
- ・ 情報共有、ネットワーク構築、情報のオープン化。
- ・ 入退院時の連携や、体調について不安な時に聞きにくい。
- ・ 担当者会議の時も照会文が帰ってこない時がある。
- ・ 退院時連携がDrにより困難な事がある。
- ・ 急性期からの口腔ケアが大切だ。
- ・ 入所者が麻薬開始されたが、治療の面で担当医が緩和医療の理解をしていないことで、そのがん患者がその治療が理解されないまま内服することになり、苦情につながり、信頼関係を欠いている。少なくとも荘内病院のDrには、十分麻薬の使い方を指導していただきたい。
- ・ 退院⇒入居時の情報収集で病棟からは家族に聞いてくださいと直接話を聞けない時がある。
- ・ 病院、診療所間での情報共有で対応も素早くおこなうことで、患者のメリットにつなげる
- ・ 在宅歯科診療で患者の主治医の先生との連携がもっとうまく出来ればと思っています。
- ・

6. 鶴岡地区の医療福祉連携で必要と考えていることは何ですか？

1. 今以上の顔の見える関係を深め、多職種の仕事や役割を知る機会 14名
2. 問題、課題に対する改善を考える機会 10名
3. 在宅での療養に関すること 14名

（特に「看取り」を在宅で行う事も含めて地域のコンセンサスが得られるような取り組みはいかがでしょう）

4. 技術、知識の向上 7名
(HHO、胃瘻や痰吸引は可能か、医療、医療専門用語の理解について)
5. 他 2名
(複数の団体の共同による研修の実施、情報交換の簡略、短時間化)

7. その他、ご意見ご感想などをお聞かせください。

- ・ すばらしい会が数多くあり、それぞれで繋がっている事がすばらしいと思います。ぜひ総合的なNPO法人などを作って全体を統括し県全体のモデルになっていただきたいと思います。
- ・ 透析患者の退院後、在宅に限界があるケースが増えてきています。医療、福祉、行政で先手を打つべく課題として捉えていただきたいです。よろしくお願いします。
- ・ 口腔ケアの今後の動きが楽しみです。
- ・ STの参加を期待したい。コミュニケーション、誤嚥など専門的な意見が聞きたいです。
- ・ 今年度、本当に多くの方々の協力を得て、歯科を多職種連携の中に入れていただきありがとうございました。今後歯科医師会が少しでも closed から open 的になり地域の多職種の皆さんの中に入っていけるよう頑張りたいと思います。
- ・ Drの参加が少ない事は問題だが、その改善策にエネルギーをつぎ込むことはそれほど必要ない。要はコアとなるメンバーを少しでも多く作っていく努力をすることだ。
- ・ 参加者の皆さんの熱心な取り組みに敬意を表します。
- ・ 歯科の先生の参加多くびっくりしています。口腔ケアは肺炎予防にとっても大切ですのでぜひ、口腔ケア指導よろしくお願いします。
- ・ 是非来年も企画してください。
- ・ 施設で勤務しております。施設ではマニュアル化された緩和ケア、口腔ケア etc があり在宅連携においてもシステム化された医療連携が図られる事を望みます。
- ・ このような会に初めて参加しました。こういった連携の大切さを感じました。
- ・ 他地区から郷里に緩和ケアを望み戻ってきた患者さんについて、うまくいかなかったので益々の協力の広がりを望みます。